

2012.9.30

第4回「ポルノ被害と女性・子どもの人権」シンポジウム

国際的に広がる性売買被害

～オーストラリア・韓国・日本の現状から～

Globally Spreading Commercial Sexual Exploitation

～ The Situation in Japan, Korea, and Australia ～

「その被害は国境の前では
立ち止まりません。」

被害をなくすのは国境を越えた
人と人とのつながりです。」

パネリスト このシンポジウムは朝日新聞厚生文化事業団「子どもへの暴力防止プロジェクト」の助成により行っています。

- オーストラリア：キャロライン・ノーマ（ロイヤル・メルボルン工科大学講師）
- 韓国：キム・コ・ヨンジュ（梨花女子大学韓国女性研究院研究教授）
- 日本：大森 佐和（国際基督教大学准教授）

日時：2012年9月30日(日) 13:00～17:30

会場：大妻女子大学千代田キャンパス（市ヶ谷校） 150 講義室

資料代：1000円

※事前申し込み必要なし

問合せ先：メール：paps@paps-jp.org

fax：03-6304-2564

ホームページ：http://paps-jp.org

主催：ポルノ被害と性暴力を考える会

後援：大妻女子大学人間生活文化研究所、株式会社福祉新聞、朝日新聞厚生文化事業団、東京都社会福祉協議会、ECPAT/ストップ子ども買春の会、全国女性シェルターネット、日本ユニセフ協会、スウェーデン大使館、NPO法人ポラリスプロジェクトジャパン

